

中華民國 台湾投資通信

November 2021

Vol. 306

日本からの継続的なワクチン提供に感謝

日本からの6回に及ぶワクチン提供に感謝します。日台友好の下、力を合わせてパンデミックに立ち向かいましょう。

日本でのオリンピック・パラリンピック開催成功、おめでとうございます

スポーツ競技を通じて友情と平和を促進し、健康、勇気、希望、スポーツマンシップを世界に示すことができました!

日本の新首相就任おめでとうございます
岸田文雄総裁が日本の第100・101代内閣総理大臣に選出されたことをお祝いします。

台日経済貿易の状況

日台間の投資と事例、日台技術協力、日台産業協力など。

インフォメーション コーナー
2021年台湾投資説明会 - 日本セッションなど。

今月のトピックス

日本からのワクチン提供に感謝

台湾と日本は長期にわたり相互に協力し、支援してきました。日本は2021年6月4日に台湾にAZワクチンを寄付した後、10月26日の30万回分まで計6回にわたりAZワクチンを追加供与しており、累計数量は420万回以上に達し、台湾に対するワクチン支援数で世界最高水準となっています。これは台湾におけるワクチン接種率向上の効果的な支援となりました。日本からの度重なるワクチン供与への感謝の気持ちを示すため、台湾は9月16日、日本に対してパルスオキシメーター1万個と酸素濃縮器1,008台などの医療品を寄贈し、台湾と日本の人々の深い友情と日台友好に基づいた協力関係を示しました。

日本と台湾は公衆衛生の分野で緊密に協力し、支

援し合っています。台湾は、昨年(2020年)マスクなどの防疫物資を日本に寄贈し、パンデミックの拡大を抑制することに役立てました。日本は、今年6月に日本の参議院で初めて台湾のWHO参加を支持する決議を全会一致で可決したほか、G7サミットでは菅義偉元首相が台湾のWHAオブザーバー参加を支持する発言をするなど、実際の行動で台湾の世界保健機関(WHO)参加を支持しています。深刻な脅威や課題に直面しても、台湾と日本は最も重要なときに相互に支援することで、強靱な友情を示してきました。今後も台湾と日本では、これまでの強固な基盤の上に、さまざまな分野で具体的な友好と協力関係を深めていきます。

日本でのオリンピック・パラリンピック開催成功、おめでとうございます

2021年7月23日から8月8日まで、日本の東京で第32回夏季オリンピック競技大会が開催されました。台湾政府と国民は、日本が大会の開催を成功させ、金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル17個の合計58個という日本にとって大会史上最多のメダルを獲得したことに祝意を表します。また、台湾は金メダル2個、銀メダル4個、銅メダル6個の合計12個のメダルを獲得し、台湾としてもオリンピック史上

最高の成績を収めました。バドミントンは球技類初の金メダル獲得となりました。

オリンピックが円満に幕を閉じた後、第16回夏季パラリンピック競技大会が2021年8月24日から9月5日まで東京で開催され、1964年の東京パラリンピックから57年を経て再び開催された夏季パラリンピックとなりました。台湾政府と国民は、日本がパラ

オリンピックを成功させたことに祝意を表します。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている時期に、日本が東京オリンピック・パラリンピックを開催したことで、人間は健康で、勇気と希望に満ちており、勇

気と秩序ある態度で、身体能力の限界に挑戦することができていることを世界に示し、未来への自信と希望を抱かせることができました。

日本の新首相就任おめでとうございます

日本の国会は10月4日に臨時国会を召集し、第100代内閣総理大臣に自由民主党の岸田文雄総裁を選出しました。岸田総裁は衆議院総選挙後の11月10日に開催された臨時国会で第101代内閣総理大臣に指名され、第二次岸田内閣が発足しました。台湾政府と国民は、岸田文雄総裁の日本第100・101代内閣総理大臣選出に祝意を表します。台湾と日本の人々の間には、相互信頼、相互利益、困難に際した一致協力の善意の循環が長く続いています。自然災害や重大事

故、あるいは今回の国際的なパンデミックなど、台湾と日本の政府と国民が互いに気遣い、支え合い、必要なものを提供するという形は、国際社会のモデルとなっています。台湾政府は、これまで築いてきた良好な基盤の上に、岸田首相が率いる新政府と協力して、引き続き台湾と日本の全面的な友好かつ実質的な協力関係を深め、インド太平洋地域の平和、安定、繁栄を共同で促進していくことを期待しています。

台日経済貿易の状況

日台二国間の投資概況と事例

台湾と日本の二国間投資については、經濟部投資審議委員会の資料によると、2020年の台湾の対日投資件数は31件、金額は3億8800万米ドルで、2019年の同時期と比べて4倍以上に増加しています。パンデミックの影響にもかかわらず、台湾企業は日本での潜在的なビジネスチャンスを楽観的にとらえています。日本企業による台湾への投資は、2018年に大幅に増加し、投資件数は524件、投資額は15億2千万米ドルに達しました。これは、日本企業が台湾の市場や消費力を重視し、台湾がアジア市場進出の足がかりとなることを期待していることを示しています。2019年および2020年における日本企業の投資および重要なビジネス活動は、パンデミックの影響を受けて減速してはいるものの、引き続き堅調に推移しています。全体的には、パンデミックの状況が最近緩和しつつあることにより、台湾と日本の企業が工場への投資を増やしており、二国間の投資の見通しは明るいものとなっています。

台湾の対日投資の事例では、2021年2月にTSMCが3DIC材料の研究を拡大するため、茨城県つくば市に「3DIC研究開発センター」を設立すると発表し、IC基板メーカーのイビデン、シリコンウエハの世界のリーダーである信越化学工業、JSR、旭化成、新光電気、日東電気などの素材メーカー、キーエンスやディスクなどの設備メーカー、東京大学などの学術・研究機関と連携します。また、TSMCは熊本県に22nmから28nmまでの特殊なプロセスに特化したウエハ製造工場を建設し、2022年に着工、2024年に量産を開始する予定です。

日本企業の対台湾投資事例については、台湾メーカーと日本メーカーの補完性の高さや、日本の半導体材料メーカーの技術的優位性などから、台湾市場のニーズに合わせた投資が継続しています。例えば、フォトレジストの世界トップメーカーである日本の信越化学工業は、2020年に台湾に約300億円を投資して工場を拡張し、同年には世界的な半導体材料メーカーであ

る株式会社トクヤマが台湾プラスチックと合弁会社を設立し、Formosa Tokuyama Advanced Chemicals（台塑徳山精密化学）社を設立する予定です。2021年には高雄に年間生産量3万トンの電子工業用イソプロピルアルコール（IPA）の工場を建設し、2023年に正式に量産を開始する予定です。また、世界的な電子工業用超純過酸化水素メーカーの巨菱精密化学公司は、2020年初頭に46億ドルを追加投資して台中港

エリアに工業用過酸化水素製造工場を建設することを発表し、2022年の完成を見込んでいます。別の大手電子ガラス系メーカーである福隆玻璃纖維公司是、嘉義県の民雄工業区に40億ドルを追加投資して第2工場を建設し、5G関連製品のハイエンド生産技術を台湾に導入します。新工場は2021年9月30日に正式に始動する予定です。

日台技術協力

グローバルなサプライチェーンが直面している課題に対応するため、台湾と日本では、財団法人工業技術研究院が日本最大手の金融グループである三菱UFJと手を組み、共同投資や共同研究開発の新たな事業計画を立ち上げ、半導体産業やエレクトロニクス、エネルギー、化学、機械、バイオ医療などの分野におけるイノベーションを加速させることで、協力関係をさらに深めています。2021年9月には、工業技術研究院と三菱UFJ銀行が共同でオンラインの「日台イノベーション・技術協力フォーラム」を開催し、台湾のイノベーションシステム産業の発展、日台の半導体や電気自動車の技術・産業の発展等の議題に焦点を当てるとともに、台湾への投資や技術協力に関する情報を提供しました。工業技術研究院は今回のフォーラムで、

三菱UFJ銀行との間で覚書を締結したことも発表しました。またイノベーションとテクノロジーの様々な分野での協力を深めるために、「日台イノベーション研究開発・産業交流プラットフォーム」を設立し、双方がテクノロジーの国際協力を強化し、定期的な国際会議などを開催して、市場や技術の情報を交換し、ビジネスチャンスやマッチングを支援することを目指します。今回日台間でMOUが締結されたことで、台湾と日本間の産業と技術における具体的な協力関係がさらに促進されます。また、国内外の産業情報に関する定期的な意見交換に加え、将来は台湾における日系企業を訪問して国際協力のニーズを聞きながら、国内の法人企業と連携して日台間の技術協力を促進し、台湾への投資を拡大します。

日台産業協力

台湾と日本の接点を拡大し、双方の企業間における多様な協力関係を加速させるために、第3回「TJ Connect Fair」が2021年10月に華山文化創意産業園区で開催され、「日台産業連携架け橋フォーラム」でイベントの幕を開けました。今回のイベントでは、デジタル技術とスマートディスプレイを主軸として、オンラインによる商談交流やフォーラムを利用して、小売、交通、エンターテインメント、医療分野における台湾のディスプレイ製品やソリューションをオンラインで紹介し、日台間の産業協力のための新たなビジ

ネスチャンスをさらに拡大します。また、イベントでは経済部台日産業連携推進オフィス（TJPO）と日本の兵庫県神戸市との二者間産業協力MOU調印式も行われ、日台産業協力のパートナーシップが追加され、神戸市はTJPOと正式にパートナーシップを結んだ9番目の日本の地方自治体となりました。今後、双方は地域の開発プロジェクトを協調して紹介し合い、相互の企業の設備投資や外資導入の協力にリソースを投入して、相互の共同発展促進を図っていきます。

2021 年台日スマートホームオンラインマッチング及びリアル展示会

会議開催日：2021 年 11 月 22 日～12 月 3 日（日本現地のリアル展示会） /

2021 年 11 月 22 日～23 日（オンラインマッチング、主に日本語を使用）

会議の場所：オンラインによるビデオ接続

活動内容：パンデミックの渦中で台湾の電機電子産業の企業が日本市場の開拓を継続できるよう支援するために、台湾電機電子工業同業公会（TEEMA）は日本能率協会（JMA）と共同で、同会東京本部の展示スペースを活用して、会員企業の高品質な電機・電子製品を展示する「日台スマートホームオンラインマッチング及びリアル展示会」を開催します。日本能率協会を通じて会員企業に参観を呼びかけています。期間中、台湾企業と日本企業を対象とした 2 日間のビデオマッチング会を開催し、双方のビジネスチャンスをマッチングさせ、日台間の協力関係促進を図ります。展示スペースには限りがあるため、日本市場の開拓に興味のある企業は奮ってお申し込みください。

指導機関：経済部国際貿易局

主催機関：台湾電機電子工業同業公会（TEEMA）

共催機関：一般社団法人日本能率協会（JMA）

活動情報：<https://www.tjabc.org.tw/index.php/tw/news-tw/2017-01-15-15-46-57/84-2021-10-20>

台湾投資カンファレンス（半導体・ESG）

活動日時：2021 年 11 月 25 日（木）午後 2 時

会議の場所：台湾 - リアル会議（台北晶華酒店、台北市中山北路二段 39 巷 3 号）

日本 - オンライン会議

活動内容：台湾と日本の間には、貿易・産業における緊密な交流、双方の相互補完的な強みをベースに、すでに強固なエコシステムが形成されています。半導体産業を例に挙げると、台湾は、ファウンドリ及びパッケージング・テスト分野における世界的リーダーであり、日本は半導体製造の主要な材料と設備の発展を主導しています。市場ニーズに応えるため、台湾と日本の半導体企業は共に次世代技術及びアプリケーション分野の開発を積極的に進めており、提携を深めることで新たなチャンスを生み出そうとしています。さらに、グリーン経済が世界の重要なトレンドとなっており、台湾及び

日本の多くのベンチマーク企業がRE100等のグローバルな省エネイニシアチブに参加する中で、川上から川下に至るサプライチェーンの全面的なグリーン化への転換が推進され、空気・水処理、エネルギー及び資源の回収、エネルギー効率の良いシステムや設備等の需要が生まれており、台湾及び日本の産業に新たな投資と提携の原動力が注入されることが期待されています。新型コロナウイルス感染拡大の影響に対応するため、経済部では、日本企業が台湾の産業動向を把握し、台湾でのビジネスチャンスを共有することができるように、初のオンライン会議とリアル会議を一体化させた「台湾投資カンファレンス（半導体・ESG）」を企画しました。

主催機関：経済部

共催機関：みずほ銀行

執行機関：財団法人中華経済研究院

活動情報：中国語：<https://2021investtaiwan-jp.cier.edu.tw/>

日本語：<https://2021investtaiwan-jp.cier.edu.tw/jp>

投資相談窓口

投資台湾事務所	台北市中正区襄陽路 1 号 8F	+886-2-2311-2031
経済省投資業務処	台北市館前路 71 号 8F	+886-2-2389-2111（内線：214） 担当：黄雅綾

InvesTaiwan: <https://investtaiwan.nat.gov.tw/homePage?lang=jpn>

